

平成27年度

事業計画書

平成27年3月

学校法人 藤村学園

東京女子体育大学

東京女子体育短期大学

目 次

平成27年度事業計画	1
I 法人の運営	2
II 大学・短期大学の運営	5
III 事業の内容	6
1 重点事業の概要	6
2 所管別事業計画	
○教育改革推進関係事業	11
○事務局関係事業	11
○教務関係事業	12
○学生支援関係事業	13
○キャリア支援・就職対策関係事業	14
○学生募集・入学選考関係事業	15
○学生・教職員の健康管理関係事業	16
○教育・研究支援関係事業	17
○地域との交流関係事業	17
○図書館の運営関係事業	18
○施設の整備	19
別紙1 学園組織図	20
別紙2 平成27年度行事予定表	22

平成 27 年度事業計画

大学を取り巻く環境は、少子化等の影響により、一段と厳しさを増しており、18 歳人口は、平成 26 年度の 118 万人から平成 36 年には 106 万人に減少することが見込まれています。

しかし、大学における私立の割合は、77.2%、短大においては、94.8%を占めており、それぞれが建学の精神に基づく個性豊かな活動を積極的に展開しています。

本学においては、藤村トヨの建学の精神「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」に基づいて、新たな「知」の創造と活用を通じて、社会や人類の発展に貢献する人材を育成する大学を目指しています。

高度なスポーツ科学や健康科学に関する研究を進め、その理論に裏づけられた実践教育を広く展開することによって、責任を果たしています。

この考えに基づき、教員養成機関として、これまでの成果を検証しつつ、社会の要請に応え、教育の情熱とより高度な専門知識・技能を保有する実践的な指導者を育成していきます。

その使命である教育・研究活動の一層の充実・向上に向けて、弛まぬ努力と創意工夫が求められ、本学においては、教育内容の改善・充実を最重要課題としています。

教育・研究活動を継続していくための経営基盤の安定性の確保と財政収支の均衡を前提に財務計画を推進していきます。

学生及び保護者の信頼を高める教育内容の充実に一層努め、建学の精神に基づき、より魅力ある大学を目指すための改革を進めていきます。

平成 27 年度は、引き続き教育内容の充実に取り組みながら、本学の魅力を発信する広報活動や将来像としての今後のあり方を検討し、競争的な環境のなかで、存続し発展していくための実効ある計画を策定し全学一体となった取り組みを行っていきます。

I 法人の運営

1 理事会等の開催

- (1) 常任理事会 (理事 5人 週1回程度随時開催)
- (2) 理事会 (理事 9人 毎月1回開催)
- (3) 評議員会 (評議員 19人 年3回程度開催)

2 学園組織図 別紙1のとおり

3 役員・評議員・教職員

(1) 役員

- ① 理事 9人 ② 監事 2人

(2) 評議員 19人

(3) 教職員数

- ① 教育職員 55人 ② 事務職員 54人

【教職員構成】

(単位:人)

教育職員		事務職員				非常勤講師
学長	1	局長	1	寮生指導員	2	34
教授	29	次長		嘱託員	5	
准教授	12	課長・主幹	11	教務補佐員	9	
講師	13	課長代理	3			
助教		係長	4			
		主査	3	計 ②	54	
計 ①	55	課員	16	総計①+②	109	

4 設置する学校・学部・学科

(1) 東京女子体育大学

体育学部・体育学科

(2) 東京女子体育短期大学

保健体育学科

児童教育学科

【第三者評価機関別認証評価】

大学	平成 20 年 3 月 19 日 認証	財団法人 日本高等教育評価機構
	平成 27 年 3 月 10 日 認証	公益財団法人 日本高等教育評価機構
短期大学	平成 19 年 3 月 22 日 認証	財団法人 短期大学基準協会
	平成 26 年 3 月 13 日 認証	一般財団法人 短期大学基準協会

5 学部・学科の入学定員

【平成 27 年度学部学科の入学定員及び収容定員】

(単位:人)

		大 学 体育学部 体育学科	短 期 大 学			総 計
			保健体 育学科	児童教 育学科	短大計	
入学 定員	入 学 定 員	300	80	80	160	460
	3 年次編入学定員	40				40
収 容 定 員		1,280	160	160	320	1,600

6 教育研究上の基本となる組織

大学等	学部	学科	コース
東京女子体育大学	体育学部	体育学科	○平成 24 年度改定カリキュラム 専門技能・指導力向上 教師力強化 地域スポーツ 野外スポーツ ダンス・表現 健康スポーツ科学 ○平成 27 年度改定カリキュラム コーチング学 体育学 スポーツ健康学
東京女子体育短期大学	保健体育学科		
	児童教育学科		

7 授業料等学納金

(単位:円)

	項 目	大 学 体育学科	短 期 大 学	
			保健体育学科	児童教育学科
入学時納入	入 学 金	320,000	210,000	210,000
	授 業 料(前期)	345,000	325,000	325,000
	施設設備費(前期)	115,000	110,000	110,000
	計	780,000	645,000	645,000
後期納入	授 業 料(後期)	345,000	325,000	325,000
	施設設備費(後期)	115,000	110,000	110,000
	計	460,000	435,000	435,000
合 計 (年額)		1,240,000	1,080,000	1,080,000

8 教育施設

- (1) 校地等 47,657 m²
- (2) 校舎等 34,073 m²
- (3) 使用目的別校舎等
 - 1号館 管理棟
 - 2号館 講義室、マルチメディアルーム、ゼミ室、研究室、女子体育研究所
 - 3号館 藤村総合教育センター、地域交流センター、110周年記念藤村学園資料室
 - 4号館 講義室、武道場、キャリア支援室、ゼミ室、研究室、健康管理センター、会議室
メディアホール、屋上多目的運動スペース
 - 5号館 第一体育館
 - 6号館 食堂、合宿室
 - 7号館 第二、第三体育館
 - 8号館 合宿室
 - 9号館 第五体育館、プール
 - 10号館 第六体育館、図書館、多目的室
 - 11号館 第七体育館
 - 12号館 事務室、会議室
 - クラブハウス

(※学生寮(ふじ寮) 東京都国立市青柳)

II 大学・短期大学の運営

1 教授会の開催

- (1) 定例教授会(月1回、原則として第一水曜日開催)
- (2) 臨時教授会(年7回程度開催)
- (3) 部館所長会(月1回定例、原則として第一水曜日開催、臨時開催随時)

2 部館所長

(平成27年4月1日)

部・館・室長名	氏名
教務部長	渡辺 博之 教授
学生部長	長谷川 洋子 教授
キャリア支援部長	奥野 知加 教授
入試部長	柳田 憲一 教授
広報部長	美谷島 正義 教授
図書館長	阿江 美恵子 教授
女子体育研究所長	掛水 通子 教授
健康管理センター所長	山田 浩二郎 教授
地域交流センター所長	秋山 エリカ 教授

※ 任期は、平成27年4月1日から29年3月31日〔2年間〕

3 平成27年度 行事予定表

別紙2のとおり

4 学生数

【大学及び短期大学の在学生数(平成27年3月1日)】

(単位:人)

学年	大学 体育学部 体育学科	短期大学			総計
		保健体育学科	児童教育学科	計	
1	387 (0)	68 (0)	94 (0)	162 (0)	549 (0)
2	369 (3)	80 (0)	82 (0)	162 (0)	531 (3)
3	381 (5)	/	/	/	381 (5)
4	339 (8)				339 (8)
計	1,476 (16)	148 (0)	176 (0)	324 (0)	1,800 (16)

()は、休学者数で内数

Ⅲ 事業の内容

本年度の事業計画は、重点事業として、「中長期計画」「教育内容等の改善充実」「研究活動の促進」「学生支援の改善充実」「キャリア支援の充実」「広報活動の充実」「地域交流事業の充実」「教育環境の整備充実」の8事業を掲げ、大学教育の質の向上を図るための計画実施に必要な経費を措置していきます。

1 重点事業の概要

(1) 中長期計画

① 本学の今後の在り方を踏まえた教育の質保証

大学・短期大学の教育の質を高め、学生の有意義な生活を保障するため教育・研究に関わる様々な改革・改善に取り組む。

② 当面の方策

平成 26・27 年度の 2 年間は、大学・短大とも教育方針を徹底させ、学生募集を強化し、現状の維持・拡大を目指していく。

③ 中期計画の策定及び実施

単年度で計画している重点事業・所管別事業を向こう 5 年間の中期計画として全学的取組みの中で策定し、実施していく。

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向け、昨年度立ち上げたプロジェクト本部及び専門委員会を中心に本学の資源を生かした方策を検討する。

④ 長期構想計画の策定

長期構想委員会において、全学的な取り組みとして、将来計画等基本戦略及び中長期構想の具体策(大学院の設置等)を検討していく。

⑤ 寄付金募集<新規>

教育研究に要する経費、奨学金支給を含む多様な学生活動への支援経費及び敷地・校舎その他付属設備の取得・改修費に係る資金調達のために積極的な募金活動を行う。

(2) 教育内容等の改善充実

① 専門教育の充実

大学体育学部の平成 24 年度カリキュラム改正に伴い新設等した授業科目について、年次進行による科目開設を順次行う。

② 平成 27 年度新カリキュラムへの対応

大学体育学部及び短期大学保健体育学科・児童教育学科の平成 27 年度カリキュラム改正に伴い新設等した授業科目は、年次進行による科目新設を順次行い、円滑な導入を図る。

③ FD活動の充実

本学の教育・研究の改善・充実に資するため組織的な取り組みを行う。

FD委員会を中心にFD研修の実施、学生による授業評価の活用等により、教員の教育意識や指導技術を高め、授業内容の改善・充実に資する。

(3) 研究活動の促進

① 女子体育研究所における研究の充実

研究機能の充実に努め、研究関連情報の収集・提供及び補助金申請支援等研究活動の充実に図る。

健康・体力に関する研究の一環として、体力テストを行う。その結果を分析評価し、学年・学科・種目別平均値等の体力プロフィールを作成し、継続資料として蓄積する。また、児童教育学科の学生に対しては、文部科学省の新体力テスト実施要項に基づく測定項目に形態・運動能力や生活習慣に関するアンケートを加え、調査依頼にも対応する。

② 研究活動の活性化

研究者情報(業績)の一元化及び教員の事務的業務の効率化に寄与する研究者情報管理システムを引き続き活用し、研究活動を実質的に支援する。

研究活動を広く発表する場として紀要を発行し、他大学等の図書館へ配布するほか、国立情報学研究所のネットワーク(CiNii)で発表する。なお、紀要には研究論文の他に、教員の当該年の研究活動報告を掲載する。

従来 of 個人研究に対する補助に加え、教員が研究内容の充実に図り、その研究成果を当大学や学会等の紀要や研究誌に発表することを奨励するため、「奨励個人研究」を新たに設ける。

(4) 学生支援の改善充実

① 運動部活動の強化・充実

本学の専門性を支える運動部活動を強化し、学内の活性化及び社会的知名度を高めることに貢献する。

競技スポーツ系クラブから大学指定クラブを選抜し、計画的に強化を図る。指定クラブの選抜及び強化策については、競技力向上委員会にスポーツに関する専門委員会としての機能を持たせるとともに、スポーツの専門的知見を必要とする事案の審議も依頼する。

② 学生の生活支援

入学直後のフレッシュウィークでの集中指導や学生相談箱の設置、クラス・ゼミ担任及びクラブ部長等の学生相談等を通じ、学生生活全般の支援を行う。

③ 奨学金の給付

本学独自の奨学金制度として、藤村学園育英奨学金、スポーツ奨学金及びスポーツ特別奨学金の給付を行い、勉学やクラブ活動を奨励する。

○ 藤村学園育英奨学金

スポーツ、勉学(教育活動)、その他芸術・文化的活動の分野において優れた資質、素質を有し、着実に実績を積んでいる将来有為な学生で、修学を継続するために経済的援助を必要とする者に対し学資を支援し、もって本学が期待する優れた人材の育成に資する。

○ スポーツ奨学金

国際競技大会や全国規模の大会で優秀な競技成績を上げたスポーツ系クラブの選手を表彰するとともに奨学金を授与し、競技活動を奨励・支援する。

○ スポーツ特別奨学金

本学の建学の精神及び教育理念に沿って本学の社会的地位の基盤に貢献しうる入学生で、インターハイ・国体・国際大会等において優秀な成績を収め、将来が期待できる選

手を支援する。

④ 新教学システムの実施

学生が履修登録した内容や成績など自己の学修情報を Web サイトで常時閲覧できるようにした。今後、ポータルサイトの充実を図り、教学事務の一層の利便性を図る。

⑤ 教師力養成講座

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことを主たる目的とした講座を開講する。教員採用試験対策に終始せず、教員としての力量を高める基礎づくりに主眼を置いて事業を展開していく。

(5) キャリア支援の充実

① キャリア形成支援

学生が生涯にわたって正しい職業観・勤労意欲を身に付け、自分に適した職業を見つける能力と勤労意欲を養い、自主的・積極的に就職活動を進められるように、入学時から体系的・計画的な支援、指導を行う。

キャリアデザイン科目では、テキスト及び資料の作成を行い、学生のキャリア形成の充実を図る。

就業体験をすることにより、学生の就業意識の啓発を図り主体的な職業選択能力を養うため、インターンシップを実施する。

② 就職活動支援

就職推進懇談会や企業への訪問を行い、学生の就職実現のための情報収集、意見交換及び幼稚園・体育施設・企業関係者への積極的な働きかけを行う。

学生の基礎的就職力を養成し、レベルアップを図るため、就職対策講座等を実施し、就職活動を支援する。

後援会支部懇談会に出席し、就職に関する情報を提供するとともに、本学独自のリーフレット(保護者向け)を作成し、保護者の理解と協力を得る。

③ 資格取得支援

就職に有利となる資格取得の助言・指導を行い、学生のキャリアアップを図る。

○各種資格取得支援:健康運動指導士、健康運動実践指導者等実用的な資格取得のための対策講座を開講する。

○保育士資格取得支援:幼保一体化の社会的要請に応える学生を育成するとともに、短期大学児童教育学科生等の就職機会の拡充を図るため、保育士資格取得試験受験のための支援を行う。

○社会体育施設実習:社会体育指導者としての資質を養い、社会体育施設への就職機会を広めるとともにジュニアスポーツ指導員資格取得を目指すため、社会体育施設での実習を行う。

(6) 広報活動の充実

① 大学経営の中長期構想において広報が担う大学存在価値の訴求

「大学存在価値」を全国的に浸透させる活動が戦略的學生募集の鍵であり、その継続的な基盤整備が2025年問題に向けた喫緊の課題である。平成25年度には「一生ものの、姿勢をつくる」という広報基本コンセプトを確立し、26年度はそのコンセプトを可能な範囲で各種メディアに活用し戦略的な一気通貫の構図を実現した。

しかし、大学ブランドを全国に訴求する導線としてのツールの充実及びあらゆるメディアの訴求力を最大限に利用し活用できる広報組織の強化が一層必要であり、さらに人的ネットワークを構築し活用できる能力が今後の広報組織に求められている。広報組織の継続的な発展充実が27年度以降の中期的構想における目標達成に不可欠である。

本学のブランディング戦略及び独自の広報を立案実施し、大学ブランドを全国に訴求する。

② 戦略的學生募集広報

本学への初期接触者を志願に結びつけ、その期待を裏切らない効率的広報として基本コンセプトの設計並びに目標規模を設定する。その実現のために本学の本質的魅力的発掘・広告・情報誌・情報サイト等による認知度の引き上げ、大学要覧・ホームページの開発と充実、オープンキャンパス、ミニオープンキャンパスの発展的改革を検討実施する。

また一般入学試験受験者数の増加を目的としたDMの積極的投入及び藤栄会や卒業生教員のネットワークを強化し、地方の優秀な人材発掘を目的とした学外イベントを発展的に充実させる。

③ 進路アドバイザーによる學生募集広報の発展

4年間の実績を踏まえ、戦略的學生募集広報をさらに充実させる。特に関東エリアではより効率的な広報活動の展開、また地方の才能ある人材獲得のために、ミニオープンキャンパスを軸として、卒業生とのネットワーク活用による全国規模の能動的な募集活動について検討する。

(7) 地域交流事業の充実

① 公開講座

本学の教育・研究の成果を地域に開放し、生涯学習の場を提供する公開講座を拡充し、本学と地域社会との交流を図る。

対象を幼児から成人・高齢者までの5区分で実施する。

幼児・小学生講座は、総合的な動きづくりとスポーツの楽しさに重点を置き、発育発達期に応じた講座の充実を図る。また、文化や科学のこころを育てる講座も開講する。

高校生講座は本学の教育の魅力をアピールする機会でもあるため引き続き実施する。

成人・高齢者講座は、スポーツを医・科学や運動学から捉え、健康づくりや生涯スポーツを楽しむ講座の充実を図る。

② 定期レッスン

近隣子ども達のスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、定期的に有料講座を開講する。

平成27年度は2種目実施する。

③ ジュニア・ユースクラブ

近隣の子ども達のスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、会員制のジュニア・ユースクラブを実施する。

3種目(新体操、HipHop、サッカー)すべてにおいて、さらに地域に根付いたクラブを目指し、地域の催しに積極的に参加、大学生との交流の場も広げ、会員の安定化と活動内容の更なる充実を図る。新体操クラブは 2020 東京オリンピックを見据えた育成・強化として、特別講師の招聘や競技会への参加など、技術力強化に向けた活動にも重点を置く。

(8) 教育環境の整備充実

① 2号館改修工事

平成 25 年度の 3 階・4 階改修工事に引き続き、27 年度は地階・1階・2 階及び南側のトイレ(地階～4 階)について、床・壁・天井及び照明設備・空調設備の改修工事を行う。合わせて、アクティブ・ラーニングへの配慮など魅力ある大学としての教育環境の整備を図る。

② 4種公認陸上競技場施設改修工事<新規>

平成 27 年 11 月に期限となる4種公認陸上競技場について、陸上競技連盟の指摘事項を踏まえて、適切に改修工事を実施する。合わせて、関連する設備の充実強化を図り、体育大学としての魅力を高める。

③ 学園資料の整備<新規>

創立 100 周年記念事業において収集した写真資料を整理し、図書館ソフトへのデータ入力・アルバム作成・デジタル化を行う。今後も、学内各部署から写真を収集し、図書館ソフトへのデータ入力等を行い、学園資料を整備していく。

④ 図書館開館時間の延長

学生の学習時間を確保するとともに学生が主体的に課題解決に取り組む能動的学習(アクティブ・ラーニング)にも対応できるよう、図書館の開館時間を延長する。

2 所管別事業

○教育改革推進関係事業【総務課】

(1) 学生による授業評価の実施

教員の教育意識や指導技術を高め、学生の視点に立った授業内容の改善に資するため、大学(体育学部体育学科)、短期大学(保健体育学科、児童教育学科)において、全科目、全クラスを対象に学生へのアンケート調査を実施する。

実施時期 前期授業 6月下旬～7月 後期授業 11月下旬～2月中旬

学外・集中授業 8月～9月、12月～3月上旬

科目数 約 350 科目 授業数 約 600 クラス 履修者数 延べ 4 万人

各教員が調査結果を分析し、改善策等についてコメントしたものを報告書としてまとめ、学生の閲覧に供し教育の質を向上させる。

(2) 自己点検評価報告

教育実践の一層の改善・充実を図るため、教育・研究活動の現状について自己点検評価を行う。

平成 27 年度は、26 年度の点検を行い、25 年度分と併せて「点検・評価年報」としてまとめ、ホームページに掲載するとともに冊子を作成し公開する。

(3) FD活動の推進

授業内容の改善・充実を図るための組織的な活動を推進する。FD委員会を中心にFD研修の実施、学生による授業評価の実施とその活用策等を検討する。

(4) ティーチングポートフォリオの作成

年度ごとのシラバス、授業評価結果等を教員ごとに管理・保管し、継続的な教育改善に資する。

○事務局関係事業【総務課・経理課】

(1) 2020 東京オリンピック・パラリンピック プロジェクト

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向け、昨年度立ち上げたプロジェクト本部及び専門委員会を中心に本学の資源を生かした方策を検討するとともに講座等を実施する。

(2) 寄付金募集

教育研究に要する経費、奨学金支給を含む多様な学生生活動への支援経費、及び敷地・校舎その他付属設備の取得・改修費に係る資金調達のために積極的な募金活動を行う。

(3) 事務職員研修(SD研修)

事務職員の能力向上のため、SD推進プロジェクトチーム(SD推進PT)を中心に学内研修会の開催等、組織的に対応する。

(4) 「学園報(仮称)」の発行

学園の基本情報を学内・学外に広く提供・周知するため「学園報(仮称)」を定期的に発行する。

○教務関係事業

【教務部教務課】

(1)履修指導の充実

学科、学部のカリキュラムを基に、学生一人ひとりの能力・適性、興味・関心に応えられる多様な教育メニューを整え、充実した学習ができるよう履修指導等を充実し、支援していく。

また、履修登録、成績管理、卒業認定単位の確認、休講・補講・教室変更等の情報など、学生情報に関する新教学システム「UNIVERSAL PASSPORT」の充実・強化を図り、学生及び教職員に対して教学事務の利便性の向上を図っていく。

(2)学外実習・演習

ア) 学外実習・演習 夏季学外講座 11 科目 冬季学外講座 11 科目

イ) 海外演習 海外英語・文化講座

(3)創作オペレッタ発表会

短期大学児童教育学科2年生全員の参加により、カリキュラム授業の中で創作劇の脚本、演出、音楽、出演など学生自身で行う創作オペレッタ発表会を開催する。

(4)導入教育の実施

ア) 「藤村トヨの教育」(講義・演習1単位) 「国語基礎講座」(講義2単位)

新入学生対象／大学・短期大学

イ) フレッシュマンセミナー

保健体育学科1年対象／水泳(含海浜実習)

児童教育学科1年対象／野外活動(含水泳)

ウ) 音楽基礎理論補充講座 児童教育学科1年対象

(5)キャリア教育の実施

「キャリアデザイン」(講義・演習1単位) 新入学生対象／大学・短期大学

「キャリアデザインⅡ」(演習1単位) 大学2年対象

(6)履修形態の多様化

ア) 科目等履修生の受け入れ(大学・短期大学)

イ) 他学科履修制度 (短期大学児童教育学科・10単位以内)

ウ) 授業ユニット運営

(短期大学児童教育学科・幼・保ユニット/こどもユニット/児童スポーツユニット)

(7) 授業運営の充実・効率化

ア) スチューデントアシスタントの活用

イ) 出席管理システムの活用

(8)聴覚に障がいのある学生への支援

ア) ノートテーカーの配置

イ) ノートテーカー養成講座

(9)高大連携

藤村女子高等学校との高大連携協定に基づき、希望する高校生に大学レベルの授業に触れさせることにより、大学進学の意味等を理解させ、適切な進路指導を支援する。

【教務部教職課】

(1)教育実習の実施

大学体育学部体育学科 4年	312人
短期大学保健体育学科 2年	33人
短期大学児童教育学科 2年	105人 (科目等履修生を含む)

(2)介護等体験実習の実施

大学体育学部体育学科 2年	380人
短期大学保健体育学科 1年	50人
短期大学児童教育学科 1年	50人

(3)教員免許更新講習会の実施

教員免許法の改正により、平成 21 年度以降に交付される教員免許状には、10 年間の有効期限が付されることとなった。これを受けて、既に免許状を保有している現職教員を対象に、教員としての最新の知識技能を身につけるため、10年に1回の更新講習会を受講することとなっている。

本学は、昨年度に続き文部科学大臣の認定を受け、同講習会を開講する。

講習の内容及び講習時間

- 教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項(12 時間)
- 教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項(18 時間)

(4)教師力養成講座

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことを目標とし、教員としての力量を高める基礎づくりを行う。

○学生支援関係事業【学生部学生課】

(1)フレッシュウィークの実施

新入生が大学での学習の魅力を肌で感じ、新鮮な印象と期待感を持って学園生活をスタートできるよう期間を設け、授業ガイダンス、キャリア支援、クラブ活動、学友会活動など学園生活に必要な事項のオリエンテーションを年度当初に集中的に行う。

(2)クラブ活動の充実

ア) 国際試合等海外遠征支援(補助金の支給)

イ) クラブ活動支援

運営指導必要経費(学外指導者連絡費等補助金の支給) 対象クラブ: 38クラブ

ウ) 特別学外指導者の配置 対象クラブ: 4クラブ

エ) 学外指導者の配置 対象クラブ:16 クラブ

オ) 特別コーチの配置 対象クラブ: 9 クラブ

(3)藤園祭(学園祭)の実施

11月3日(文化の日)を中心とした2日間に様々なイベントや模擬店等を学生からなる藤園祭実行委員会が企画・運営し、地域の人たちとのコミュニケーションを図る。

(4)実践研究活動費補助

スポーツの実践知を文化として社会に浸透させるため専任実技指導教員の研究活動を支援する。

(5)奨学金の給付

ア) 藤村学園育英奨学金

大学・短期大学在校生対象 予算額:1,500 万円(本学独自の奨学金)

イ) スポーツ奨学生

大学・短期大学在校生対象 予算額:1,000 万円(本学独自の奨学金)

(6)日本学生支援機構奨学金の貸与(平成 26 年 10 月 1 日現在の実績)

第一種奨学金(無利子) 218 人

第二種奨学金(有利子) 693 人

(7)学生相談

ア) 学生相談箱の設置

イ) 相談担当教員による相談、臨床心理士等によるカウンセリング

(8)オフィスアワーの実施

学生のより豊かな学習活動を支援するため、全教員が曜日と時間を設定し、学生の相談等に応じ、きめ細かい支援をする。

(9)学生寮「ふじ寮」の運営

寮生数(想定) 新入生 118 人、在寮生 134 人 合計 252 人

機器備品の更新 年次計画(平成 27 年度)

洗濯機 5 台 乾燥機 5 台

○キャリア支援・就職対策関係事業【キャリア支援部キャリア支援課】

(1)ガイダンス・講習等

ア) 就職・資格取得オリエンテーション〈全学生〉

フレッシュウィーク就職オリエンテーション前期 1 回 後期 1 回

キャリアガイダンス 年間 40 回

(2)キャリア支援

ア) 教科用図書等関係印刷物の作成

『キャリアデザイン』 大学 1 年、短期大学 1 年

就職ガイド『「なりたい！」の実現を目指して』 大学 3・4 年、短期大学 2 年

イ) キャリアカウンセリング 〈全学生〉

専門のキャリアカウンセラーを配置して、学生の進路相談に応じる。

ウ) 卒業生も含め、個々の学生の就職相談に応じる。

エ) キャリア支援関係情報の収集・提供

(3)各種資格取得支援

ア) 教員採用試験対策講座

教員採用試験直前対策講座 大学 4 年、短期大学 2 年 50 人

公務員採用試験第二次試験直前対策講座 一次試験合格者

都道府県市教員採用試験二次試験対策講座 一次試験合格者

イ) レッツ・スタディ

一般教養や専門教養などについて少人数のグループ学習

昼休みを利用して、1年間を通じて学生のスキルアップを図る。

ウ) 各種資格支援講座の実施

社会体育施設実習 大学 3・4 年 30 人 短期大学(保健体育学科)2 年 40 人
 健康運動指導士認定試験対策講座 大学 3・4 年 10 人
 健康運動実践指導者認定試験対策講座
 大学 3・4 年 40 人 短期大学(保健体育学科)2 年 10 人
 共通科目 I 集中講座 短期大学(児童教育学科)1・2 年 30 人
 保育士資格取得試験対策講座 短期大学(児童教育学科)2 年 15 人
 日本赤十字社救急法講習会 全学年 40 人
 日本赤十字社水上安全法講習会 全学年 20 人
 秘書検定講座 「秘書検定 2 級」 10 月講座開講
 日本語検定講座 「日本語検定 3 級・4 級」 9 月講座開講

(4) 就職対策

就職対策基礎講座 大学 3・4 年、短期大学 1 年 100 人
 就職対策講座 大学 3・4 年、短期大学 1 年 100 人
 コース別講座

小・中・高教員コース	卒業年次を除く全学生対象
一般企業・体育施設コース	卒業年次を除く全学生対象
公務員コース	卒業年次を除く全学生対象

(5) インターンシップ(大学取りまとめ型)夏期休業期間中 大学 2・3 年

(6) 対外活動

対外的な活動によって情報を収集し、新たな就職先を開拓する。また、後援会支部会等に出席し、就職に関する情報を提供するとともに、保護者の理解と協力を得る。

ア) 就職推進懇談会等

幼稚園長懇談会
 体育施設関係、一般企業関係懇談会

イ) 訪問活動

都道府県市教育委員会
 体育施設、一般企業等
 後援会支部懇談会

○学生募集・入学選考関係事業【入試課・広報課】

(1) 入学選考の実施

- ア) AO 型入試(Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期)
- イ) 推薦入試(公募推薦、指定校推薦、スポーツ推薦)
- ウ) 一般入試
- エ) センター試験利用入試
- オ) 大学 3 年次編入学選考(Ⅰ期、Ⅱ期)

(2) 学生募集活動

- ア) オープンキャンパス(6 回)・ミニオープンキャンパス(6 会場)の実施
- イ) 高校訪問

ウ) 進学説明会への参加(延べ 80 回)

エ) スポーツ推薦の学生募集

(3) 広報活動

ア) 高校生・他大学等対象「大学要覧」の発行 (A4 版 80 ページ 18,000 部)

イ) 広報誌の発行

「ヘッドライン」	(在学生・保護者向け、年 2 回、延 10,000 部)
「ラブスポ」	(在学生・高校生・学外向け、年 1 回、延 20,000 部)

ウ) ホームページによる入試広報

大学案内、学生募集案内、選考結果、オープンキャンパスのお知らせ、資料請求等

エ) インターネット、携帯電話を利用した広報

オ) 受験雑誌、新聞、広告等による広報

カ) 指定校等向けポスターの制作・掲載

キ) 交通広告による広報

(4) スポーツ特別奨学生の運営

Sランク 入学初年度費用(入学金、授業料、施設設備費)及び次年度以降の授業料・施設設備費を免除。ただし、次年度以降の免除については、別に定める基準により評価し決定する。

Aランク 入学初年度費用(入学金、授業料、施設設備費)及び次年度以降の施設設備費を免除。ただし、次年度以降の免除については、別に定める基準により評価し決定する。

Bランク 入学初年度費用(入学金、施設設備費)を免除

Cランク 入学初年度費用(施設設備費)を免除

○学生・教職員の健康管理関係事業【健康管理センター】

医療法に基づく認可を受けた「診療所」として、治療処置の初期対応や迅速な措置を行うことにより学生・教職員の健康管理の充実を図る。

学生の健康診断に基づき学生一人ひとりの健康を医師が専門的に管理し、健康の保持増進に努める。

また、新型インフルエンザ等感染症は、学生をはじめ学園に関わる全ての者に注意喚起をするとともに、予防対策と発症時の対応を適宜・適切に行う。

(1) 定期健康診断と事後措置 (学生、教職員 4 月実施)

(2) 医事相談(外科、内科他全般)

(3) リハビリ相談(理学療法士による相談、指導)

(4) 精神衛生相談 (臨床心理士による心理相談)

(5) 応急手当・保健指導

○教育・研究支援関係事業【女子体育研究所】

女子の体育・スポーツ・レジャー・ニュースポーツ等とこれに関連する研究調査を行い、その向上、発展に資することを目的とし、その成果を教職員・学生のみならず広く社会へ公開し、社会の発展に寄与する。

(1) 教員の個人研究・共同研究に対する補助

個人研究(本学教員) 共同研究(継続 2 件、新規 2 件予定)

(2) 研究フォーラムの開催

研究フォーラムを開催し、教員の個人研究及び共同研究の成果を本学教員と学生に発表する。

(3) 「紀要」、「所報」の発行

「紀要」は教員の研究成果を論文として発表する機会を設けるため毎年発行し、全国の大学や国会図書館・関係出版社等にも配布するとともに国立情報学研究所のネットワーク(CiNii)で発表する。(第 51 号)

「所報」は研究所の研究事業及び共同研究を研究報告として発表する場として毎年発行し、紀要同様、全国の大学等に配布すると同時にホームページ「女子体育研究所」で検索できる。(第 10 号)

(4) 研究者情報の開示(教員の研究業績の開示)

- ① 本学の研究資源として、教員の持っている知的資源、資質・能力及び本学独自の研究指導成果を広く公表する機会とする。
- ② 教員の研究領域や分野を相互に理解し、研究活動を充実させ、研究集団としての価値を高める機会とする。
- ③ ホームページ(教員情報)、researchmap(教員名又は大学名で検索)および J-GLOBAL (researchmap の教員から検索)において、本学教員の研究業績の開示を行っている。

(5) 学生に対する体力テストの実施と測定結果の活用

(大学・短期大学各 1・2 年および競技系クラブ所属 3・4 年生対象)
全国大学体育連合へデータ提供する。

○地域との交流関係事業【地域交流センター】

地域社会からの要請に応じて大学の教員や学生を派遣し、地域の教育、文化、スポーツ等の活動を支援するとともに、大学主催事業である公開講座、定期レッスン、ジュニア・ユースクラブの運営・実施により、地域の発展に寄与する。

(1) 公開講座の開催

公開講座は、地域の方が自由に参加することのできる講座を無料で提供する。

幼児教室	3 回開講	各 20～25 人
小学生教室	6 回開講	各 20～50 人
高校生教室	7 回開講	各 30～50 人
成人教室	4 回開講	各 35 人
共 通	3 回開講	各 30～50 人

(2) 定期レッスン

定期レッスンは、専門的内容の定期講座を有料で提供する。

① 新体操 6回開講 各50人(小学生～高校生対象)

② ドローイングワークショップ 4回開講 各20人(小学生対象)

(3)ジュニア・ユースクラブの開催

ジュニア・ユースクラブは、会員制、通年で継続的に事業運営する。

① 新体操

新体操キッズコース	3コース	毎週1回 各15人
新体操ジュニアコース	6コース	毎週1回 各15人
新体操ユースコース	2コース	毎週1回 各15人
新体操育成コース	4コース	毎週1回 各15人
新体操選手コース	2コース	毎週4～5回 各8人

② ヒップホップ

キッズヒップホップ	1コース	毎週1回 20人
-----------	------	----------

③ サッカー

キッズサッカー	2コース	毎週1回 各20人
---------	------	-----------

(4)ボランティア講座の開催 (学生対象/5講座/講義・演習)

学生にボランティアの意義、理論を学ばせ、演習を通してボランティア実践の方法を学ばせる。

(5)ボランティア活動

教育、文化、スポーツ等に関する地域社会からの要請に基づき、教員、学生を派遣し、社会貢献の一環とする。

○図書館の運営関係事業【図書館】

大学附属図書館は大学における教育・研究活動を支える重要な基盤機関であり、また総合的な教養の場でもある。この目的を達成するために学生の教育・学習、教員の研究活動を支援し、図書をはじめとする雑誌、新聞、映像、電子資料の収集・提供・保存を行う。

(1)図書等資料の収集・整理・保存(蔵書冊数予定 191,000冊)

図書受入予定	約 4,000冊
雑誌所蔵予定	約 900種
新聞所蔵予定	約 14種
映像資料所蔵予定	約 150種
データベース予定	約 7種

(2)図書貸出冊数 年間 約 4,000冊

(3)レファレンス・サービス

(4)学外機関との相互協力

図書館間の資料の相互補完

国立情報学研究所の目録所在サービスへの図書・雑誌所蔵登録

(5)広報活動

図書館だより「リーブル」年2回発行

ホームページ(図書館ページ)の更新

(6)平成 27 年度図書館行事予定

ライブラリー・ツアー	調査・研究に役立てるために、図書館の資料の場所を知り、検索方法や利用法を身に付けさせる。	5、6、11 月の 水曜日 3、4 限 (延べ 12 回予定)
読み聞かせの会 「絵本から広がる 子育て」	絵本を入口に子どもと一緒に楽しむ。	6 月第 1 週
図書館は楽しい ー子どもと一緒に 絵本の読み聞かせ 紙芝居 クラフトワーク他	学園祭にあわせ図書館を地域に開放して、児童教育学科の学生と子ども達との交流を図り、地域社会への貢献を行うことにより、図書館の有効な利用法の一つとする。	11 月藤園祭期間 午後 1～2 時

その他複数の行事を実施する予定

○施設の整備【管財課】

(1)2号館改修工事

平成 25 年度に改修工事を実施した2号館3階・4階の継続工事として、老朽化した2号館の 2 階・1 階・地階について設備更新を視野に入れた改修工事を実施する。具体的には、①床の張替え、壁・天井・入り口ドアの補修塗装等の改修を行う。②教壇・教卓・机・椅子等の什器・備品については適宜更新として購入する。③3階旧女子研究所及び隣室ゼミ室については整備改修工事を合わせて実施する。④照明器具についてはLED照明に切り替え、無線LAN設備を新設するとともに、空調設備の改修を行う。

(2)4種公認陸上競技場改修工事

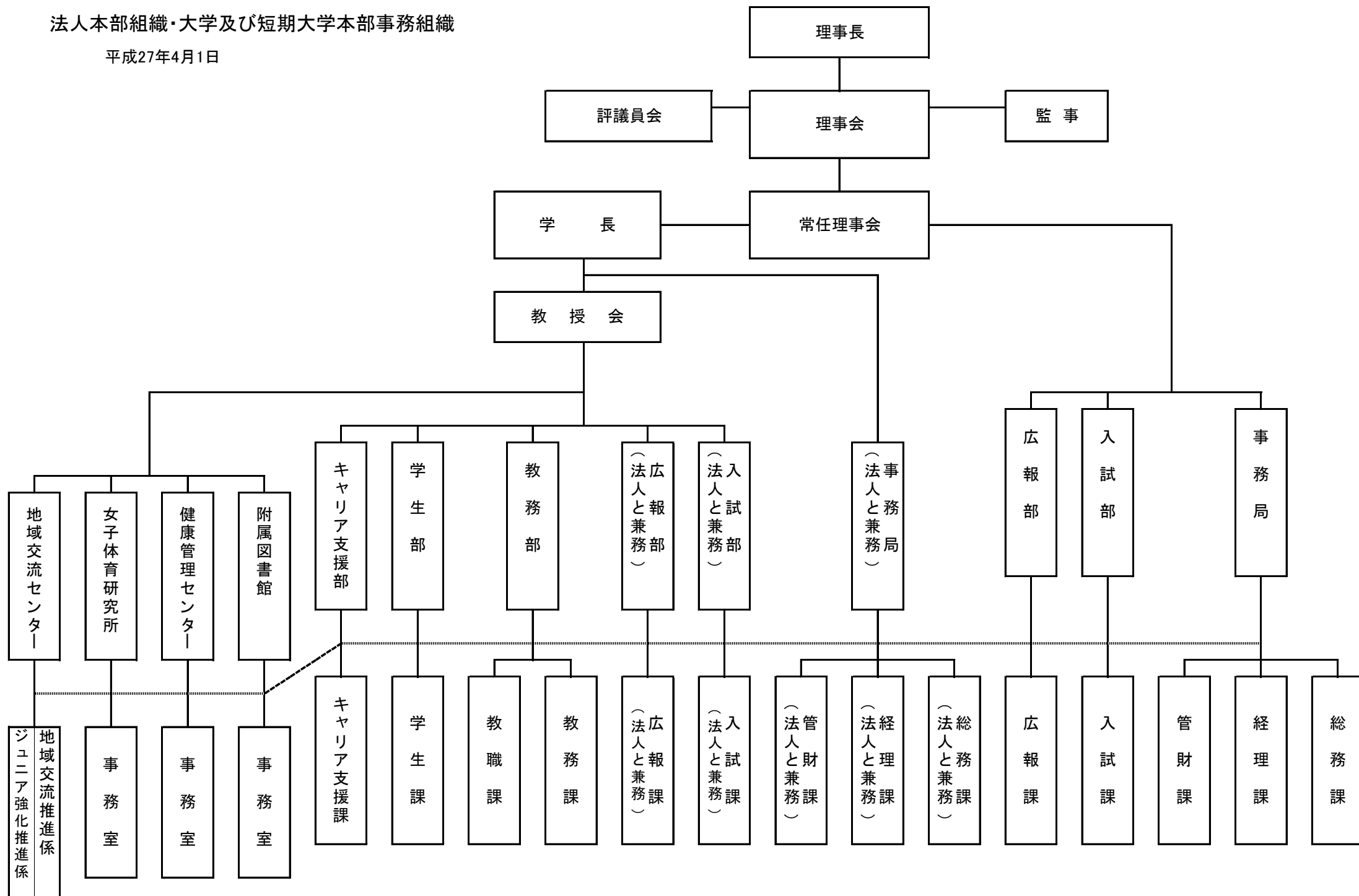
平成 27 年 11 月に期限となる4種公認陸上競技場について、陸上競技連盟の指摘事項を踏まえて磨耗や欠損している箇所などの適切な補修を含めたウレタン舗装等の改修工事や棒高跳びマット、砲丸など備品類も購入整備する。合わせて、トラックの機能として最新のものとなっていない現状の外勾配を改め内勾配とするとともに、電子計時システムの導入など、関連する設備の充実強化を図り、体育大学としての魅力を一層高める。

(3)正門前借地建物建設工事

正門前の隣地借地(約 990 m²)に約 400 m²高さ約 10mの仮設建物を建設し、校内が手狭になって練習等の支障となっている様々なクラブ活動等での活用促進に役立て、本学における教育環境の一層の充実強化を図る。さらに、近隣住民がより一層参加しやすい施設として、地域支援のための公開講座等の会場としての活用などの事業推進にも役立てることとする。

法人本部組織・大学及び短期大学本部事務組織

平成27年4月1日



平成27年度 行事予定表

(2015年度)

東京女子体育大学
東京女子体育短期大学

4		5		6		7		8		9	
月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
1	水	金	振替休業日(4/29)	月	教育実習(大4・保2) 教育実習(児2)	1	水	土	定例教授会	火	
2	木	土	振替休業日(7/20)	火		2	木	Ⓜ	夏季休業開始 オープンキャンパス	水	
3	金	Ⓜ	憲法記念日	水	定例教授会	3	金	月	キャンプⅠ(大2) キャンプ(保体)	木	
4	土	Ⓜ	みどりの日	木	就職ガイダンス(大3)	4	土	火		金	
5	Ⓜ	火	こどもの日	金	就職ガイダンス(保1・児1)	5	Ⓜ	水		土	I期A0面談日①
6	月	Ⓜ	振替休日	土		6	月	木	補講期間(5校時)	Ⓜ	
7	火	木		Ⓜ		7	火	金		月	
8	水	金	通常授業開始日 授業ガイダンス(前期)	月	社会体育施設実習 (大3・4・保2)	8	水	土	前期試験成績締切日	火	
9	木	土		火		9	木	Ⓜ	キャンプⅡ(大3・4)	水	定例教授会 就職対策講座(基礎)
10	金	Ⓜ	創立記念日	水	介護等体験学外講師講話 (大2・保1・児1)	10	金	月		木	
11	土	月		木		11	土	火		金	
12	Ⓜ	火		金		12	Ⓜ	水	水泳運動方法及び実習(大学) 水泳(含海浜実習)(保1)	土	I期A0面談日②
13	月	水	定例教授会	土		13	月	木		Ⓜ	夏季休業終了
14	火	木		Ⓜ		14	火	金		月	各課オリエンテーション
15	水	金	履修登録/変更締切日	月	社会体育施設実習 学外講師講話(大3・4・保2)	15	水	土	就職ガイダンス (大4・保2・児2)	火	各課オリエンテーション
16	木	土	就職ガイダンス (大4・保2・児2)	火		16	木	Ⓜ	就職ガイダンス (大1・2・3)	水	追再試験
17	金	Ⓜ	就職ガイダンス (大4・保2・児2)	水		17	金	月	就職ガイダンス (保1・児1)	木	都教職員研修センターとの 連携による研修 ウエイクボード(大4) 教員免許状更新講習
18	土	月		木		18	土	火		金	
19	Ⓜ	火		金		19	Ⓜ	水	オープンキャンパス	土	I期A0面談日③
20	月	水	教育実習学外講師講話 (大4・保2・児2)	土	オープンキャンパス	20	Ⓜ	木	海の日(授業あり)	Ⓜ	
21	火	木	就職ガイダンス(大4)	Ⓜ		21	火	金		Ⓜ	敬老の日
22	水	金	体力テスト(授業なし)	月	就職ガイダンス(保2・児2)	22	水	土	教員免許状一括申請 オリエンテーション(大4)	火	国民の休日
23	木	土	(水曜日の授業)	火		23	木	Ⓜ	就職ガイダンス(児2)	Ⓜ	秋分の日
24	金	Ⓜ	インターンシップ 学生報告会(大2・3)	水		24	金	月	教員免許状一括申請 オリエンテーション(保2・児2)	木	通常授業開始日 授業ガイダンス(後期) 履修取消等受付開始 臨時教授会
25	土	月		木		25	土	火	野外活動(児教)	金	
26	Ⓜ	火		金		26	Ⓜ	水		土	
27	月	水	介護等体験学生報告会 (大2・保1・児1)	土		27	月	木		Ⓜ	
28	火	木		Ⓜ		28	火	金		月	
29	Ⓜ	金	昭和の日(授業あり)	月		29	水	土	前期試験	火	
30	木	土		火		30	木	Ⓜ		水	履修取消等締切
31	金	Ⓜ		水		31	金	月	スクーバダイビングⅠ(大3) スクーバダイビングⅡ(大4) マリンスポーツ(保2)	土	

月日	10		11		12		月日	1		2		3		月日
1	木		⑩		火		1	⑤	元日	月	一般入学選考 編入学選考日(Ⅱ期)	火		1
2	金		月	藤園祭	水	定例教授会	2	土		火	●後期試験	水	定例教授会	2
3	土		⑩	文化の日	木		3	⑩		水	定例教授会	木		3
4	⑩		水	定例教授会	金		4	月		木		金		4
5	月		木	就職ガイダンス(大3)	土		5	火		金	臨時教授会 科目等履修生受付締切	土		5
6	火		金	就職ガイダンス(保1・児1)	⑩		6	水	冬季休業終了	土		⑩		6
7	水	定例教授会	土	振替休業日(11/3)	月		7	木	補講日	⑩		月	Ⅲ期AO選考日	7
8	木		⑩		火		8	金	(月曜日の授業)	月		火		8
9	金		月		水	卒業研究発表会 (午後授業なし)	9	土		火	創作オペレッタ発表会 (児教)	水	臨時教授会	9
10	土		火		木	就職ガイダンス (大4・保2・児2)	10	⑩		水	●追再試験	木		10
11	⑩		水	ゼミ所属オリエンテーション 運動専攻オリエンテーション	金		11	⑩	成人の日(授業あり)	⑤	建国記念の日	金	春季休業開始	11
12	⑩	体育の日	木		土		12	火	介護等体験一括説明会(大1)	金		土		12
13	火		金	社会体育施設実習学生報告会 (大2・3・保1)	⑩	Ⅱ期AO選考日	13	水	定例教授会 ●補講期間(5校時)	土		⑩		13
14	水	編入学選考日(Ⅰ期) AO審査委員会	土		月		14	木		⑩		月		14
15	木		⑩		火		15	金		月		火		15
16	金	臨時教授会	月		水	臨時教授会	16	土	振替休業日(1/11) センター試験	火		水		16
17	土	オープンキャンパス	火		木	就職ガイダンス(児1)	17	⑩	センター試験	水	海外英語・文化講座 就職対策講座(直前) ●スノーボードⅠ(大3)Ⅱ(大4) ●スノーボード(保1)スキーⅡ(保2)	木		17
18	⑩		水		金	就職ガイダンス (大3・保1・児1)	18	月		木		金		18
19	月		木	入学試験準備(授業あり)	土		19	火		金	卒業認定会議	土	卒業生ガイダンス	19
20	火		金	推薦入学選考(授業なし)	⑩		20	水		土		⑩	卒業式 春分の日	20
21	水	教育実習学生報告会 (大3・保1・児1)	土		月		21	木	就職ガイダンス (大3・保1・児1)	⑩		⑩	振替休日	21
22	木		⑩		火		22	金	就職ガイダンス (大1・大2)	月	●スキーⅠ(大2・保) ●スキーⅡ(大3・4)	火	振替休業日(3/20)	22
23	金		⑩	勤労感謝の日 (授業あり)	水	天皇誕生日・冬季休業開始 ●スケートⅠ(大3)・Ⅱ(大4) ●スケート(保2)	23	土		火		水		23
24	土		火		木		24	⑩		水		木		24
25	⑩		水	臨時教授会	金		25	月		木		金		25
26	月		木	振替休業日(11/23)	土		26	火		金		土	オープンキャンパス	26
27	火		金		⑩		27	水	研究フォーラム 科目等履修生出願説明会	土		⑩		27
28	水		土		月		28	木	●科目等履修生出願受付開始	⑩		月		28
29	木		⑩		火		29	金		月		火		29
30	金		月		水		30	土	入試準備(授業あり)			水		30
31	土				木		31	⑩				木		31